



## 交流支援 パキスタン アルカイルアカデミー職業訓練所

パキスタン交流会 6/6 (木) 生活クラブ千葉3階ホール

今回日本ファイバーリサイクル連帯協議会(JFSA)の招きでパキスタンから来日したのは、ムザヒル校長、アルカイルアカデミービジネスグループのカユーンさん、古着を買ってもらっている古着商のワリさんの3名です。

### ＜ムザヒル校長の話＞

パキスタンの政権が代わり、経済状態が悪くなり、治安がますます悪くなっている。特にカラチではいろいろなグループが対立している。

政治的、経済的にも悪い状況の中で、アルカイルアカデミーでの教育にやりがいを感じている。

現在、3500人以上の子どもの135人の先生が指導している。自分たちが教育できることで子どもたちも変わってきたし、子どもたちの親の意識も変わってきた。

アルカイルアカデミーには現在、本校と分校2か所があり、本校職業訓練所(アーシアンが支援している部門)ほか大学(理系カレッジ)―85人の生徒(18才～19才)が通っていて、ユニバーシティに行ける資格を取っている。

他の地区にも学校を作り、なるべく多くの子どもたちを教育したい。なかなか教育を受けられない女子もアルカイルアカデミーでは勉強しているので希望者が多いが、場所の確保が難しく、250人くらいの枠しかないのでは断っている。

パキスタンでは土地登記が重なっていることが多く、土地取得が難しい。その中でアーシアンから職業訓練所の土地購入してもらえたことは大きかった。

パキスタンはなかなか電気の供給がされず、停電も多い。教室内に照明を準備することも難しい。自然エネルギーの太陽パネルも考えたが、太陽パネルを設置すると盗まれるのでそれもできない。

盗電(街灯などから電線を引き、電気を盗む)ことが普通に行われている。

パキスタンでは輸出できるものが無く、外貨を稼ぐことができないため、インフラ整備もままならない。経済状況が悪いうえ、宗教上の対立で常に治安が悪い。特にカラチは悪くなっている。

職業訓練所の縫製科は本校内の明るい教室に移動した。前の教室は離れた建物にあり暗かったため、縫製科の女の子の身の安全を確保するため。(数メートルの距離でも危険な状況にある)

最後にカユーンさんとワリさんに、現地ではどんな古着の需要が多いか聞いてみました。

1番は女性の下着(ブラジャー)だそうです。男性のズボンも需要が多いそうだが、ズボンはせいぜい1kg10～20円だそうです。女性の下着は1kg450円くらいの値がつくそうです。(ワリさんが「企業秘密の値段を明かしてしまった!!」と焦っていました。)

あと、ハンカチ(タオルハンカチも含む)の需要も多いそうです。古着回収では使わなくなったブラジャーでも大丈夫だそうです。

### アルカイルアカデミー職業訓練所

パキスタン・カラチのスラム地域にある無料の学校アルカイルアカデミーに併設された職業訓練所です。算数や国語などの普通授業を受けながら、同時に電気修理や縫製の技術を学ぶことを目的に2001年に開設されました。これにより、家庭の都合で学校をやめずに学びつづけることができるようになっています。



### 交流会に参加して 大塚裕子

初めてムザヒル校長先生とお会いし、お話する事ができました。ですが、彼の語るパキスタンの現状は、私の想像をはるかに超えていました。「法も正義もない」という言葉が胸にささりました。政治も経済も破綻し、絶望的ともいえる状況の中で、子ども達に教育の機会をと尽力されている先生に尊敬の念を新たにしました。

JFSAの皆様にも貴重なお話をたくさん伺う事ができました。危険を顧みず活動続ける皆様にはただただ頭が下がります。私達アーシアンの会員にはなかなかそのような活動はできませんが、もっとたくさんの人が関心を持ち、私達のできる事で支援を続けることができたらの思いを強くした一日でした。